



パーキンソン病とてんかんの 病態について勉強会



今回の奨学生会議は松山大学の学生2名と松山ハロー薬局から1名、愛媛生協病院から3名の薬剤師が参加しました。

学生から「中枢神経系の疾患」のについて希望があり、今回は「パーキンソン病」「てんかん」の病態について勉強しました。てんかんでは、発作が原因で重大な交通事故となったニュースを取りあげ病気の怖さを知りました。またてんかんの概念・分類などの講義がありました。パーキンソン病では、脳の断面図を見ながら、どこの異常で伝達異常になっているのか、症状の三大主徴(無動・固縮・振戦)など講義した後、国試で出そうな問題を○×の選択形式で出題し回答してもらいました。

薬剤師から「まずは、何について聞かれているか問題を読む」などアドバイスをしてもらいました。

学生からは、「苦手な分野についてすごく分かりやすく頭の中で習ったことを整理することができた」と感想がありました。

